

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 29 年 11 月 30 日 (2017.11.30)

【公表番号】特表 2016-538158 (P2016-538158A)

【公表日】平成 28 年 12 月 8 日 (2016.12.8)

【年通号数】公開・登録公報 2016-067

【出願番号】特願 2016-530143 (P2016-530143)

【国際特許分類】

B 2 7 M 3/00 (2006.01)

E 0 4 B 1/48 (2006.01)

E 0 4 B 1/58 (2006.01)

E 0 4 B 1/26 (2006.01)

【F I】

B 2 7 M 3/00 H

E 0 4 B 1/48 B

E 0 4 B 1/58 5 0 1

E 0 4 B 1/26 E

E 0 4 B 1/48 K

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 10 月 17 日 (2017.10.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ピン継手用の少なくとも 2 つの継手孔と、第 1 の平面および第 2 の平面とを含む継手素子を選択し、該継手素子はさらに、該継手素子の外縁部に向かって傾斜し前記平面のうちの少なくとも一方に対してある角度で配置された斜面を含み、

それぞれの被接合木質構体の接合面に溝を設けて、該木質構体の接合面を互いに向き合させて該木質構体を互いに配置すると、該被接合木質構体に設けられた溝で形成される空間と前記継手素子が係合可能であるようにし、該空間は、前記継手素子と実質的に同じ大きさおよび形状を有し、

少なくとも 1 つの被接合木質構体に設けられた溝に接合剤を配し、少なくとも 1 つの被接合木質構体の溝に前記継手素子を配置し、前記接合面を向き合せて前記木質構体を互いに接合し、前記継手素子および前記接合剤が実質的に前記空間を満たすようにし、

前記木質構体を互いに固定するために、少なくとも 1 つの被接合木質構体を通して前記継手素子のそれぞれの継手孔に継手ピンを配置する木質構体の相互接合方法において、

前記継手素子は、互いに対向する端部に第 1 の曲状部および第 2 の曲状部を含み、該方法はさらに、

それぞれの被接合木質構体に形成される溝を配設して、第 1 の曲状部または第 2 の曲状部の形状と実質的に一致する形状を構成することを特徴とする木質構体の相互接合方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法において、前記接合剤はポリウレタン接着剤を含むことを特徴とする方法。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の方法において、前記継手素子は木質材料で形成されているこ

とを特徴とする方法。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の方法において、前記継手素子は、交差接着された木質材料で形成されていることを特徴とする方法。

【請求項 5】

請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の方法において、前記継手ピンは、前記被接合木質構体のうちの少なくとも 1 つと同じ材料で形成されていることを特徴とする方法。

【請求項 6】

木質構体を互いに接合する継手素子において、該継手素子は、ピン継手用の少なくとも 2 つの継手孔と、第 1 の平面および第 2 の平面、ならびに該継手素子の外縁部に向かって傾斜し前記平面のうちの少なくとも 1 つに対してある角度で配置された斜面とを含み、その場合、該継手素子は、少なくともその外縁部のうちの 1 つが、またはその外縁部の 1 つの領域が、該継手素子の中央部の領域と比べて深くテーパ状をなし、

該継手素子は、該継手素子の第 1 の端部にある第 1 の曲状部と、該継手素子の第 1 の端部とは反対の第 2 の端部にある第 2 の曲状部とを含むことを特徴とする継手素子。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の継手素子において、第 1 の平面および第 2 の平面は、該継手素子の両側部に配置され、互いに実質的に平行であることを特徴とする継手素子。

【請求項 8】

請求項 6 または 7 に記載の継手素子において、該継手素子は断面が対称であり、その場合、互いに実質的に平行な第 1 および第 2 の平面と、該継手素子の両側で少なくとも該継手素子の第 1 の端部および第 2 の端部にある斜面とを含み、該斜面は、これらの平面から該継手素子の外縁部に向かって傾斜し、該継手素子は、前記継手孔の方向において該継手素子の第 1 の平面および第 2 の平面で画成される中央領域と比べて第 1 の端部および第 2 の端部が深くテーパ状をなしていることを特徴とする継手素子。

【請求項 9】

請求項 6 ないし 8 のいずれかに記載の継手素子において、該継手素子は、木質材料で形成されていることを特徴とする継手素子。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の継手素子において、該継手素子は、交差接着された木質材料で形成されていることを特徴とする継手素子。

【請求項 11】

請求項 6 ないし 10 のいずれかに記載の継手素子を含むことを特徴とする木質構体を接合する継手構体。